

## 成人式に思う

JJ1SXA/池

2018年1月8日、成人式当日に、早朝から着付けの予約をしていた新成人達は、もぬけの殻となった「はれのひ」の店舗を見て、さぞや啞然としたでしょうね。

着物の販売・レンタルなどを手がける「はれのひ」が突如店を閉じ、予約していた新成人客が成人式で晴れ着を着られなくなった、成人式は、一生に一度の事だ、「はれのひ」の罪は重い。

この成人式だが、ルーツは、蕨町の行った第一回青年祭に由来するとされています、「成年式発祥の地記念像」は市制施行20周年と成人の日制定30周年を記念して昭和54年1月15日に城址公園に建立されました。

蕨市のホームページに以下の記述があります。

戦後初めて成年式を行った青年祭とは、次のようなイベントであったと第一回の開催要項からうかがい知ることができます。

「第一回青年祭開催要項(抜粋)」

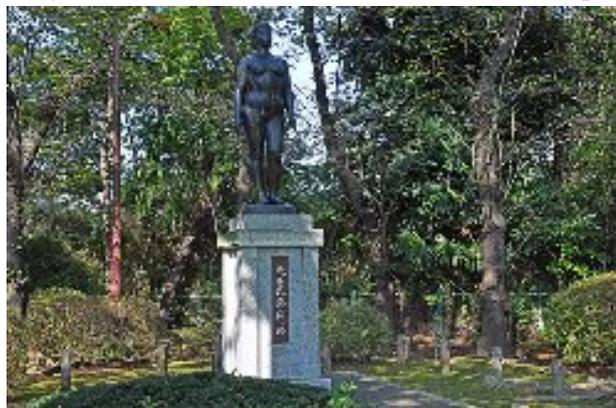
1. 開催期日 昭和21年11月22日(金曜 青年記念日)、23日(土曜 新嘗祭)、24日(日曜)の3日間
2. 主催 蕨町 蕨町青年団
3. 協賛 蕨第一国民学校(現在蕨市立北小学校)他
4. 後援 朝日新聞社
5. 行事 (1)成年式・式典、11月22日午前9時より蕨第一国民学校運動場、開式の辞(青年団長)、町長式辞、文部大臣の青年に與ふる言葉(申請中)、埼玉県知事の青年に與ふる言葉、来賓祝辞(本県選出代議士、県議等)、成年者代表・誓の詞、閉式の辞

該当者・大正15年11月22日～昭和2年11月21日迄に出生した在町男女青年

参列者・町名誉職、成年者父兄、成年者、各種団体長、青年団員及町民一般、その他・成年式当日在町青年者名簿を印刷配布し又町内各所に掲示する

…と、以上のような記述がある。(蕨町は現蕨市)

蕨城址公園に建つ「成年式発祥の地記念像」



選挙権が18歳以上に引き下げられたが、色々な法律が追随できずにいるのが現状のようだ、近年は、低年齢者層の重大犯罪も多く発生し、少年法の適用が、現行法で良いのかどうかも問われている。

1960年(昭和35年)10月12日、日比谷公会堂において、演説中であつた浅沼稻次郎日本社会党委員長が暗殺(刺殺)されたが、犯人の山口二矢は当時17歳の少年だった、逮捕後、「後悔はしていないが償いはする」と口にして裁判を待たず、東京少年鑑別所内で「七生報国、天皇陛下万才」との遺書を残して首吊り自殺した。

暴力はいけないし、歩んだ道は間違つたかも知れないが、17歳の少年にしてしっかりと自分を持っていた。

「左翼指導者を倒せば左翼勢力をすぐ阻止できるとは考えないが、彼らが現在までやってきた罪悪は許すことはできないし、1人を倒すことで、今後左翼指導者の行動が制限され、扇動者の甘言に付和雷同している一般の国民が、1人でも多く覚醒してくればよいと思った。」と供述調書にある。

またノートには、「国ノ為神州男子晴レヤカニ ホホエミ行カン死出ノ旅」、「大君ニ仕エマツレル若人ハ 今モ昔モ心変ラジ」の二句があつた。

練馬鑑別所の壁に残された山口二矢の遺書  
(チュウブ入りの白い歯磨き粉で書いたようだ)



「七生報国」は楠木正成が、足利尊氏の軍に敗れて弟と共に自刃した時に誓った言葉だ、新成人には本物の大人になって欲しい、「扇動者の甘言に付和雷同している一般の国民が、1人でも多く覚醒してくればよいと思った。」と山口二矢の供述調書にあるが、右翼だ、左翼だでは無く、日本国民としてしっかり判断できる自分を持ってもらいたい。